

# 令和4(2022)年産なし管理ポイント 第6報

令和4(2022)年6月23日

J Aはが野梨部会、J Aはが野営農部  
栃木県芳賀農業振興事務所経営普及部

今回のポイント

- 果実肥大は平年並み。着果過多に注意して、摘果の見直しを徹底的に！
- カメムシ類の発生に注意！黒星病、炭疽病の防除徹底！

## 1 生育状況

果実肥大は各品種ともほぼ平年並みである(表1)。

各品種とも全体的に結実が良好だったため、着果過多気味のほ場が多い。

これまでのところ病害虫の発生は少ないが、農業環境指導センターからカメムシ類やシクイムシ類の発生が多くなる予報が出ている。

表1 本年の生育調査ほにおけるの果実肥大経過(設置場所：芳賀町稲毛田)

品種名 (満開日)	年次	満開後日数別果実横径(mm)				
		30日	40日	50日	60日	70日
幸水 (4/18)	本年	20.1	27.4	32.3	36.7	
	平年比	93%	100%	102%	102%	
	前年比	113%	113%	112%	109%	
豊水 (4/15)	本年		24.9	29.2	32.4	
	平年比		98%	101%	99%	
	前年比		101%	104%	101%	
【参考】 にっこり (4/11)	本年		25.6	31.0	34.1	38.4
	平年比		112%	109%	105%	104%
	前年比		135%	115%	109%	101%

注) 幸水及び豊水の平年値は直近10か年の平均。にっこりは直近4か年の平均のため参考値。

## 2 今後の栽培管理のポイント

### (1) 仕上摘果の見直し

○本年は各品種とも結実が良いため、着果過多による小玉果の多発や次年産の花芽着生への影響などが懸念される(表2)。したがって、仕上摘果終了後、再度ほ場を見回り、仕上摘果の見直しを行う。できれば補正摘果までに2回程度回り、適正着果を徹底する(表3)。

○あきづきは500g以上の大果になるとコルク状果肉障害が発生しやすいので、平均果重が400g程度になるように着果管理する。また、着果過多になると花芽着生が悪くなる

ので注意する。

○豊水も大果にし過ぎるとみつ症等が発生しやすいので注意する。

表2 本年の生育調査ほにおける予備摘果直後の着果密度

品 種 名	予備摘果後の着果密度 (果/樹冠面積㎡)	予備摘果日	予備摘果の程度
幸 水	36.6	満開後 31 日	各品種とも 1 果そうあたり 1 果に制限。
豊 水	29.0	満開後 40 日	
にっこり	31.1	満開後 21 日	

表3 主要品種の着果目安

品 種 名	目標収量 (kg/10a)	平均果重 (g)	着果数(果/樹冠面積㎡)	
			仕上摘果後	収穫時
幸 水	3,000	350	11.7	10.6
豊 水	4,000	400	13.6	12.4
あ き づ き	3,000	400	10.2	9.3
新 高	4,000	650	8.4	7.6
に っ こ り	4,000	650	8.4	7.6

注) 目標収量や着果数は、樹冠面積占有率 90%、商品化率 90%として算出した。

## (2)新梢管理

### ①芽かき・夏季せん定

○病虫害防除に支障をきたさない程度に行う。混み具合を見ながら少しずつ何回かに分けて行う。

### ②新梢誘引

○予備枝から直立して伸長している新梢は、6月下旬～7月上旬に棚面に対して45度になるように誘引し、次年産のえき花芽の着生を図る。

○予備枝から新梢が複数発生している場合は、先端部の生育の良いものを1本残し、優良な長果枝の育成を図る。

○誘引と併せて、予備枝の新梢発生基部に芽切りばさみ等でスコアリング処理を行うとえき花芽の着生がさらに向上する。

### ③長果枝（結果枝）の摘心処理

○長果枝から新梢が多数発生し次年産の短果枝維持が困難な場合は、6月下旬～7月上旬に先端1～2芽以外の新梢を果そう葉を残して摘心し、短果枝の育成を図る。

## (3)病虫害防除

### ①果樹カメムシ類

○多目的防災網は4mm目合以下ならば隙間無く展張すれば防除効果は高い。

○なし園外から断続的に飛来してくるため、園内をこまめに観察し侵入していることを確認したら登録のある農薬で防除する。

○残効期間の長いピレスロイド剤や忌避効果の期待できるネオニコチノイド剤を効果的に使用する。

○なし園付近にスギやヒノキの山林がある場合は特に注意する。

○夜行性のため、夕方や早朝の防除が効果的である。

表4 カメムシ類に登録のある主な農薬

名称	使用時期 (収穫前日数)	希釈倍数	使用回数	系統 (IRACコード)
スミチオン乳剤	21 日前まで	1000 倍	6 回以内	有機リン(1(B))
MR. ジョーカー水和剤	14 日前まで	2000 倍	2 回以内	ピレスロイド(3(A))
アーデント水和剤	7 日前まで	1000 倍	3 回以内	
アグロスリン水和剤	前日まで	1000~2000 倍	3 回以内	
テルスターフロアブル	前日まで	3000~6000 倍	2 回以内	
アクタラ顆粒水溶剤	前日まで	2000 倍	3 回以内	ネオニコチノイド(4A)
アドマイヤー顆粒水和剤	3 日前まで	5000~10000 倍	2 回以内	
スタークル顆粒水溶剤	前日まで	2000 倍	3 回以内	
ダントツ水溶剤	前日まで	2000~4000 倍	3 回以内	
モスピラン水溶剤	前日まで	2000~4000 倍	3 回以内	
テッパン液剤	前日まで	2000 倍	2 回以内	ジアミド(28)

注) 令和4年6月23日現在の登録状況に基づいて作成した。

②黒星病

6月下旬~7月中旬に幸水の果実が感染しやすくなるので、農薬防除を徹底するとともに、7月上旬まで発病部位の摘み取りを行う。


③炭疽病

○近年、豊水、新高で発生が多く、にっこりでも発生が確認されている。

○5月下旬~7月に最も感染しやすいので、部会防除暦を参考に農薬防除を徹底する。

④その他

シンクイムシ類の発生状況に注意しながら、部会防除暦を参考に農薬防除を徹底する。



農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！

身支度も  
万全にし  
てまる！

①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う(※)

②農薬の飛散防止を徹底する

③農薬の使用状況を正確に記帳する

※既に購入されている農薬について、ラベルどおり使用できない場合もありますので、メーカーのチラシや県のホームページ等、最新の情報をご確認ください。

栃木県農業環境指導センター

検索

CLICK!

(4)排水対策

園内で滞水しやすい場所は、排水路(明きょ排水)を設置するなど湿害対策を講じる。

(5)かん水

高温や干ばつが続く場合は、雑草との水分競合を防ぐため草刈りを徹底するとともに適宜かん水を行う。

### 3 気象経過（なし開花期以降）

